

Tシャツに自分でデザインした絵柄をプリントする留学生②号館



ジャパンテント職人大学校

世界7カ国
留学生と交流
田



折り鶴を作り笑顔を見せる留学生

本学でTシャツ、折り紙、名刺作りに挑戦

第十八回ジャパンテント（七月三十日 八月五日）の「職人大学校」が八月三日行われました。金沢学院大学の会場では、訪れた七カ国十人の留学生が、オリジナルデザインのTシャツ、折り紙、名刺づくりに挑戦し、補助を務めた本学学生と交流しました。

歓迎セレモニーでは、石田寛人学長、谷内輝雄基礎教育機構長の挨拶に続いて、水島翔司学友会会長が「文化や国籍を超えて楽しい時間を過ごしたい」と歓迎しました。留学生、補助学生が一人ずつ自己紹介を行い、留学生は勉強中の日本語で「楽しみにしていました」などと挨拶しました。オリジナルTシャツ作り



画面を解説する新村助教

国際文化学科公開講座
金沢学院大学文学部の公開講座は七月二十四日、金沢市の金沢西町教育研修館で、「メディアを利用した効果的な英語学習」をテーマに開かれ、受講した約三十人が、英語の表現の面白さや効果的な学習のための工夫を勉強しました。
国際文化学科の新村知子



講演するベイトソン助教

助教は、「E+」や「バック・トゥ・ザ・フューチャー」など、おなじみの映画の中から会話の場面を引用し、やりとりするせりふを題材にして、自然な表現や、状況に適した表現について解説しました。

同科のゴードン・ベイトソン助教は、携帯電話のインターネット接続機能

映画のせりふ、携帯を題材に

新村、ベイトソン助教講演

では、留学生が自分の名前や日付を入れて、独自の絵柄をデザインし、無地のTシャツにアイロンで転写して仕上げました。互いに見せ合って出来栄を競う姿も見られました。

折り紙では、鶴や小舟などの折り方について、本学の学生から教わりました。

夕暮れ祭りに本学ブース
七月二十九、三十日に金沢市内で開催された「夕ぐれ祭り」に、金沢青年会議所主催）で、金沢学院は県中央公園にブースを出展しました。大学、短大の学部学科紹介パネルを並べ、キャンパスガイドを配布して、学生募集をPRしました。



夕ぐれ祭りに出展した本学のブース

10日に大学、短大のオープンキャンパス
金沢学院大学・金沢学院短期大学の2005オープンキャンパス（第二回）は八月十日、金沢市末町のキャンパスで行われます。

来年度に開設を予定している経営情報学部の3学科をはじめ各学部学科の教育内容の説明、オープン授業のほか、個別相談コーナー、作品展「ランチアワー」（無料の学食体験）などが予定されています。

発行・広報室